

令和6年度 ふくおかエコ農産物栽培 計画書

認証番号	0810795	栽培管理者	花田寛道	品目名	うるち米（普通期）	品種名	元気つくし、びかまる
------	---------	-------	------	-----	-----------	-----	------------

別記1

除草剤			
体系	資材名	うち化学合成農薬の有無	同左有効成分数
A	ワザアリ楽粒	○	2
B	銀河フロアブル	○	3
C	メガゼータフロアブル	○	2

別記2

病害虫防除							合計
体系	資材名	うち化学合成農薬の有無	同左有効成分数	資材名	うち化学合成農薬の有無	同左有効成分数	節減対象農薬の成分回数
A	ダブルカットバリダフロアブル	○	1	イクシードフロアブル	○	1	2
B	ブラントバリダ粉剤DL	○	3	-	-	-	3

令和6年度 ふくおかエコ農産物栽培 計画書

1 栽培概要

認証番号	0810795	栽培管理者	花田寛道	品目名	うるち米(普通期)	品種名	ミルクークイーン
播種	(計画) 令和6年4月上旬	定植	(計画) 令和6年5月下旬	収穫 期間	(計画) 令和6年8月下旬～令和6年9月上旬		
	(実績) 年 月 日		(実績) 年 月 日		(実績) 年 月 日～年 月 日		
	<input checked="" type="checkbox"/> 購入種子・苗 <input checked="" type="checkbox"/> 自家採種 <input checked="" type="checkbox"/> 種子消毒あり <input type="checkbox"/> 周年栽培 <input type="checkbox"/> 多年生・永年性作物		<input type="checkbox"/> 周年栽培 <input type="checkbox"/> 多年生・永年性作物		作型 <input type="checkbox"/> 周年栽培 <input type="checkbox"/> 施設栽培		
化学肥料 代替技術 ※用いる 技術に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 有機質肥料の利用 (鶏ふんペレット)	<input checked="" type="checkbox"/> 緩効性肥料の利用 (エムコート2000 100日タイプ)	化学農薬 代替技術 ※用いる 技術に <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 生物的防除 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 物理的防除 (温湯消毒)		
	<input type="checkbox"/> たい肥の利用 ()	<input type="checkbox"/> 緑肥の利用 ()		<input type="checkbox"/> 耕種的防除 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 天然物質由来農薬の利用 (アサシロゲン、ダブ、 アサシロゲン、ダブ、 アサシロゲン、ダブ)		
	<input type="checkbox"/> その他 ※具体的に記述すること			<input type="checkbox"/> その他 ※具体的に記述すること			

2 資材の使用計画・実績

計画	実績	作業名 または 使用目的	堆肥・肥料			雑草・病害虫防除	
			資材名	施用量 (kg/10a)	化学肥料 由来の 窒素量 (kg/10a)	資材名	削減対象 農薬の 成分回数
令和6 6	3 下	種子消毒				温湯消毒	0
6	4 上	播種	みのるピート培土	60	0.02		
6	5 中	基肥	別記1のいずれか		1.40～ 3.00		
6	5 中	基肥	鶏ふんペレット (3.6-4.0-3.4)	180	0.00		
6	5 下	箱施肥				ミネクトスター顆粒水和剤	2
6	5 下	田植					
6	6 上	除草剤散布				別記2のいずれか	1～2
6	7 上	追肥	別記1のいずれか	0～10	0.00～ 1.40		
6	7 下	病害虫防除				別記3のいずれか	2～4
6	8 ～9 上	収穫					
			合計		2.82 ～3.02	合計	5～8

普及指導センター名： 北筑前 確認者氏名：井上 敬

令和6年度 ふくおかエコ農産物栽培 計画書

認証番号	0810795	栽培管理者	花田寛道	品目名	うるち米 (普通期)	品種名	ミルクークイーン
------	---------	-------	------	-----	------------	-----	----------

別記1

下記のいずれかの体系を選択

体系	基肥 (R6.5中旬)			追肥 (R6.7上旬)			化学肥料由来の窒素量合計 (kg/10a)
	資材名	施用量 (kg/10a)	化学肥料由来の窒素量 (kg/10a)	資材名	施用量 (kg/10a)	化学肥料由来の窒素量 (kg/10a)	
速効性 (基肥+穂肥)	ベスト化成444	10	1.40	ベスト化成444	10	1.40	2.80
緩効性 (基肥一発)	エムコート2000 100日タイプ	15	3.00	なし	0	0.00	3.00

別記2

体系	除草剤		
	資材名	うち化学合成農薬の有無	同左有効成分数
A	兆フロアブル	○	1
B	メガゼータフロアブル	○	2

別記3

体系	病害虫防除						合計
	資材名	うち化学合成農薬の有無	同左有効成分数	資材名	うち化学合成農薬の有無	同左有効成分数	
A	キラップ ジョーカーフロアブル	○	2	ブラントレバ リタ フロアブル	○	2	4
B	ブラントレバ リタ 粉剤DL	○	3	-	-	-	3
C	ダブルカットバリダフロアブル	○	1	イクシード フロアブル	○	1	2
D	キラップ粉DL	○	1	ブラント粉剤DL	○	2	3